

キリングループの多様な事業を支える研究開発と人財

キリンホールディングス株式会社 R&D 本部 研究開発推進部長 津田秀樹

日時：3月25日 12:35 - 13:25、会場：D1、プログラム番号：LS2-5

<講演要旨>

キリングループは、未来を見据え「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界の CSV 先進企業となる」というビジョンを掲げています。CSV（Creating Shared Value）を日本語にすると「共通価値の創造」、社会的ニーズや社会問題の解決に取り組むことで社会的価値と経済的価値を創出し、成長の推進力にしていくことを指します。

キリングループの研究開発部門は、グループ各社が事業を通じてこの社会的ニーズや社会問題の解決に取り組むためにサイエンスとテクノロジーの力で貢献しています。酒類・清涼飲料から健康機能性食品、医薬品まで事業領域は幅広く、それぞれ基礎研究・応用研究さらには事業に直結する商品やサービスの開発を行うため、研究者・技術者の専門性やバックグラウンドもさまざまです。しかし、研究者・技術者たちは多様な技術や知見を取り込みながら、事業を支える新たな成果を生み出してきました。一人ひとりが持つ能力を最大限に引き出し、切磋琢磨ができる環境、その先に新たな価値創造の実現があると考えています。

本講演では、キリングループの研究開発を紹介しながら、CSV 経営の実現に向けて高い研究力・研究マネジメント力を有しながら幅広く人財が活躍している様子をお伝えします。

